

レビー小体型認知症サポートネットワーク兵庫

第16回対面＋オンライン交流会のお知らせ

参加いただけるのはレビー小体型認知症のご本人、ご家族、介護・医療関係者などの方々です。病気やケアについて学び、支え合っていきたい、情報共有したいという願いを持って交流会を開催します。交流会の一部は研究として取り組んでいます。交流会が皆さまの気がかりの解決の糸口になればと考えています。

日時

2022年6月4日(土)
15:00～17:00

定員40名様
(対面15名程度)

講演

15:10～15:50

「レビー小体型認知症とパーキンソン病」

講師: 苅田典生先生(脳神経内科くすのき診療所院長
神戸大学医学部医学科客員教授)

相談会

16:00～16:50

困りごとや体験を語り合おう!
ご希望の方、ご参加ください



対面会場: 神戸国際会館805会議室で行います。

各線三宮駅より、三宮地下街・地下通路から【A8出口】
【国際会館】へ矢印の方向へお進みください。

オンライン: Zoomというアプリを使用して行います。

パソコン・タブレット・スマートフォンの使用が可能な場所
からご参加ください。通信費は参加者の負担となります。

場
所

申
し
込
み

1. ホームページ→QRコードからアクセス可能



2. メール、FAXで2枚目の内容についてご連絡ください。締切: 5/27

メール: m-kutsumi@nursing.osakafu-u.ac.jp、FAX: 072-950-2821
参加申し込み時に必要事項を記入して申し込みをお願いします。

・オンラインに不安をお持ちの方も多いためです。交流会開始15分前からZoomの練習を行う予定です。詳細につきましては、参加受付完了の電話連絡後にお知らせいたします。

・参加定員を超えた場合はご参加いただけない場合がありますのでご了承ください。

レビー小体型認知症サポートネットワーク兵庫 TEL: 072-950-2821
(留守電の場合はご用件・連絡先などのメッセージを残してください)

レビー小体型認知症サポートネットワーク兵庫交流会：参加申込書

※下記にご記入の上、メールまたはファックスでお申し込みいただくか、ホームページからください。

お名前	性別：男・女	年齢	歳代
ご連絡先(交流会申し込み確認のための電話をいたします)			
電話()	—	、携帯	— —
メールアドレス このアドレスに交流会に招待するために必要な連絡を送りますのでお間違いのないようにご記入をお願いします。 @ パソコンから送信するメールが受信できるアドレスでお願いいたします。			
事前の聞き取り・交流会に関する説明文書送付先住所：			
お立場：ご本人・ご家族・介護関係者・医療関係者・その他()			
交流会参加方法の希望(いずれかに○)： 対面※ オンライン 検討中 ※対面会場に参加される場合、当日朝体温測定して頂き37℃以上ないことを確認の上ご来場お願いします。 また会場内では不織布マスクの着用を必須としますので、ご協力をお願いします。			
交流会への参加の有無： 初めて ・ 参加経験あり(回)			
介護・医療関係者の方のみお答えください※相談会のグループ分けの参考にいたします。 レビー小体型認知症の人の支援(介護・看護・ケアマネジメント)の経験： あり・なし 経験年数・事例数を可能な範囲でお書きください()			

- ◆ 参加希望の方が複数の場合は、お1人につき1枚でお申し込みください。
- ◆ ご質問、ご相談について交流会前に電話でお伺いします。お伺いした内容を交流会の時に答えられるようにいたします。

【レビー小体型認知症に関してご質問やご相談がありましたらご自由にお書きください】

- ◆ 申込書に記載頂きました個人情報は、本交流会の参加者の把握およびオンライン交流会への参加招待以外の目的には使用致しません。交流会の開催に関して変更等がある場合には、記載頂いた連絡先にご連絡致します。お気軽にご参加くださいますよう、心よりお待ち申し上げます。

本交流会は、1) 交流会で知りたいこと、2) 講演、3) 講演部分への質疑応答、4) 参加者同士の語り合う場、5) 交流会後のアンケートの5つで構成されています。1) 3) 4) 5) は研究として取り扱います。1) では交流会に参加される方がどのようなことを知りたいのかを明らかにすること、3) 4) では質疑応答や交流の場でのやり取りからレビー小体型認知症の周辺に存在する諸問題を明らかにすること、5) では今後の交流会活動のあり方を検討することを目的としています実施にあたり、以下の倫理的配慮・個人情報保護の保護を遵守いたします。

倫理的配慮・個人情報の保護等について

1. 本研究は大阪府立大学大学院看護学研究科研究倫理委員会の承認を得ております。研究の実施にあたり、十分な倫理的配慮をいたします。
2. 研究への参加の同意と撤回について
 - 1) 研究への参加はレビー小体型認知症のご本人、ご家族、ケアに関わる人の自由な意思で決めることができます。
 - 2) 一旦研究参加に同意いただいた場合であっても、電話やメール、書面の郵送いずれかによる同意撤回の意思を示すことで、自らがなされた同意はいつでも撤回することができます。そのことによって何ら不利益を受けることはありません。ただし、既に報告書や論文として公表された結果は削除できないことがあります。
3. 個人情報の取り扱いについて
 - 1) 取得した個人情報は取得した個人情報は研究の説明文書の送付、結果のフィードバック以外の目的で使用いたしません。
 - 2) 得られたデータは研究目的にのみ使用し、個人のプライバシーに関する情報はすべて遵守することを保証します。また、得られた研究のデータは個人が特定できないように処理し、パソコンのハードディスクに保存せず、セキュリティ機能付フラッシュメモリに保存し、施錠のできる場所に保管します。また、データ保存や分析に使用するノートパソコンは、インターネット接続を遮断し、電子化データはバックアップの作成により、再利用可能な形で保存します。
 - 3) 収集したデータは、研究を終了した日から5年、または研究結果を最後に公表した日から3年のいずれか遅い日までには研究者がデータを保存します。保存期間終了後、得られたデータは個人情報が漏えいしないように処理し、破棄・消去いたします。
 - 4) 研究結果は、学会や学術雑誌等で発表することがありますが、個人が特定されるような情報を公表することは決してありません。希望される方には、結果の概要を郵送させていただきます。
4. 本研究参加によるレビー小体型認知症ご本人とご家族、ケアに関わる人への利益・不利益
交流会前の電話での聞き取りにおいて時間や労力が必要になり、また困っていることなどを聞かれることで精神的負担が生じる可能性があります。そのため電話での聞き取りは長くても30分ほどとします。交流会の参与観察で参加者がやり取りをノートに記載しないでほしいといった発言があった場合には即座に中止します。必要に応じて研究者の一員である精神科医師によるフォローをお願いします。本交流会参加によって、知りたかったこと、悩んでいたことについて事前に交流会運営者である研究者から聴取を受けることで、何を知りたいのか等について参加者自身が明確にできる。聴取された内容は交流会時に医師からフィードバックを受けることができることが期待できます。
5. 交流会を対面実施するにあたっての新型コロナウイルス感染症対策
 - 1) 研究者は研究実施2週間前から朝晩2回の検温を行い、37℃以上の発熱や咳の症状などないか健康観察を行います。またこまめに手洗い・手指消毒・うがいに努め、外出時にはアルコール消毒液を携帯いたします。
 - 2) 研究者は不織布マスクを着用し、マスクは鼻・口を隙間なく覆うよう正しく装着し、交流会を実施します。
 - 3) 対面会場で交流会に参加する方には、健康観察をしていただき体調に異変がないか確認していただき、不織布マスクの着用をお願いいたします。また、交流会会場に入る際には非接触式の体温計で検温を行い、アルコール消毒をしていただきますのでご協力をお願いします(不織布マスク、非接触の体温計、アルコール消毒薬やペーパータオル、ゴミ袋などを研究者が用意しておきます)。
 - 4) 研究者は会場の密閉を避け最低でも30分に1回以上、数分間程度窓を全開にするなどして、適度に換気ができるよう配慮し、交流会参加者と2m以上の距離を保って密接を避けるようにします。
 - 5) 感染防止のための(1)～(4)の環境確保と感染防止策を行った上で、交流会を実施します。